

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和7年度大規模構造物の便益評価に関する検討業務
業 務 概 要	本業務は、ダム事業の費用対効果の算定のうち、「流水の正常な機能の維持（以下、「正常流量」という）のための容量（不特定容量）の便益」について、便益算定技術の向上のための便益算定検討を行い、課題等の整理を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 中国地方整備局長 杉中 洋一 広島市中区上八丁堀6-30
契 約 年 月 日	令和 7年 9月 9日
契 約 業 者 名	日本工営（株）広島支店
契 約 業 者 の 住 所	広島市中区八丁堀5番7号
契 約 金 額	14,993,000円（税込み）
予 定 価 格	14,993,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙「契約理由書」のとおり
業 務 場 所	中国地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間（自）	令和 7年 9月10日
履 行 期 間（至）	令和 7年12月26日
備 考	入札情報サービス（PPI） (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書 (プロポーザル方式)

契約業者名： 日本工営(株)

業務の名称： 令和7年度大規模構造物の便益評価に関する検討業務

契約理由：

本業務は、ダム事業の費用対効果の算定のうち、「流水の正常な機能の維持（以下、「正常流量」という）のための容量（不特定容量）の便益」について、便益算定技術の向上のための便益算定検討を行い、課題等の整理を行うものである。

業者の選定にあたっては、簡易公募型プロポーザル方式を採用し、配置予定技術者の経験及び能力、実施方針・実施フロー・工程計画・その他、評価テーマに関する技術提案について総合的に評価を行った結果、求める業務内容に合致し、最も優れた提案を行っていることから、会計法第29条の3第4項、予算決算及び会計令第102条の4第3号により、上記業者と契約を行うものである。